農作物への鳥獣被害対策に係る補助制度

有害鳥獣による農作物への被害を防止するため、防護柵の設置を行う人に対し、購入に必要な費用の一部を補助します。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 事　業　名 | １.鳥獣被害防止総合対策交付金（　**国　庫　事　業**） | 2.勝央町有害鳥獣防護柵設置補助金（　**町　単　独　事　業**） |
| 主な採択要件 | 次のすべての要件に該当するもの。・集落または取り組み農家戸数が３戸以上の計画であること・本事業を行うことでそれに見合った成果が得られると見込まれるもの（作付けの有無や被害の程度などによって算出される費用対効果を根拠とする）次のすべての要件に該当するもの。・有害鳥獣の侵入を防止するために有効であると認められる防護柵（電気柵、ワイヤーメッシュ柵及び金網柵）であるもの・過去に1または2の事業を活用し、防護柵を設置した農地（耐用年数を経過していない農地）ではないもの・耐用年数（金網柵・ワイヤーメッシュ柵１４年間、電気柵８年間）の間、農地の耕作を維持し、防護柵の管理が維持できるもの・防護柵の高さ１．８ｍ（電気柵であれば５段張り）以上を確保できるもの・ワイヤーメッシュ及び金網柵は、くぐり抜け防止として地際の補強等を実施するもの（アンカーピンなど）共通事項 | 1の事業の対象とならない農地に新たに防護柵を設置するものを対象とします。次のいずれかの要件に該当するもの。・単独又は連続する農地で、面積が1,000㎡以上（登記面積）であるもの・水路や道路等に有害鳥獣対策を新たに講じるもの※同一年度内に複数の申請をしていない人（共同設置の申請者も含む）を対象とします。 |
| 補助対象者 | 勝央町有害鳥獣被害防止対策協議会（採択要件を満たす3戸以上の農家からの申請を取りまとめて、国に申請します）  | 次のすべての要件に該当する人。・町内に農地を所有し、継続して耕作をする人・販売を目的として作付けする農地に防護柵を設置する人 |
| 補助金額 | 予算の範囲内で資材費相当分を定額補助。ただし、予算額を上回った場合は、自己負担が発生することがあります。 | 資材購入費の１/２以内（上限１５万円、千円未満の端数切り捨て） |
| 事業の流れ | ④負担額請求（協議会→申請者）負担が発生した場合、申請者に請求③防護柵設置（申請者）防護柵の資材が納入された年度内に自力施工にて設置②資材納入（協議会→申請者）翌年秋頃に協議会より必要資材を全て購入し、各申請者に資材を納入①要望（申請者→協議会）１１月～１２月上旬（例年、広報紙１１月号に掲載）頃に要望書を提出 | ①交付申請（申請者→町）４月～１２月の期間に交付申請書を提出※予算額に達した時点で、受付終了します。②資材購入・防護柵設置（申請者）町から申請者への交付決定の後、防護柵を購入し、年度内に設置③実績報告（申請者→町）　防護柵設置完了後、実績報告書を提出④補助金請求（申請者→町） 町から申請者への額の確定通知の後、町に請求 |
| 留意事項 | 設置に係る人件費、汎用性の高い作業道具、雑品等購入費は、補助対象経費となりません。資材購入前に手続きが必要になりますので、事前にご相談ください。 |
| 問い合せ先 | 勝央町　産業建設部 （勝央町有害鳥獣被害防止対策協議会事務局）Tel ： 0868-38-3112Mail ： sangyou@town.shoo.okayama.jp |

**【町単独事業の対象となる具体例】**（点線：筆界、太線：防護柵設置予定箇所、太点線：既設防護柵）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 国庫事業の対象とならない農地（受益戸数３戸以上）について

|  |
| --- |
| 山林 |
|  | 対象農地 | 道路 |  |
| 対象農地 |
| 原野 |

地理的条件等により農地が連続せず、受益戸数３戸以上での共同設置ができない農地。 | 国庫事業の対象とならない農地（受益戸数３戸以上）について

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 設置済農地 | 設置済農地 | 対象農地 | 対象農地 | 設置済農地 | 設置済農地 |
| 道路 |

連続する農地が国庫事業等で防護柵を既に設置している農地。 | 国庫事業の対象とならない農地（受益戸数３戸以上）について

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （設置希望なし）所有者Ａ | （対象農地）所有者Ｂ | (意向確認不可)所有者Ｃ |

連続する農地の意向を確認した上で共同設置できない農地。 |
| 農地面積について

|  |  |
| --- | --- |
| 農地 | 農地 |
| 対象地500㎡ | 対象地500㎡ |
| 農地 | 農地 |

連続する農地で、面積の合計が1,000㎡以上であるもの。ただし、連続する農地が上のような理由により、共同設置できない場合に限る。 | 農地面積ついて

|  |  |
| --- | --- |
| 農地 | 農地 |
| 対象地400㎡ | 対象地400㎡ |
| 道路・水路等 |
| 対象地400㎡ | 対象地400㎡ |
| 農地 | 農地 |

道路や水路等を挟んで接続する農地は、連続する農地とみなすため、連続する1,600㎡（400㎡×4筆）の農地とする。 | 農地面積について

|  |  |
| --- | --- |
| 対象地1,000㎡ | 農地 |
| 農地 | 農地 |
| 道路・水路等 |
| 農地 | 対象地800㎡ |
| 農地 | 対象地800㎡ |

同一申請で離れた２つの農地に設置を希望する場合は、それぞれで面積1,000㎡以上の確保が必要。 |
| 水路または道路への対策について

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 山 | 林 |  |
|  | 農地 | 農地 |  |
|  | 農地 | 農地 |  |
|  | 道路・水路等 |  |
|  | 農地 | 農地 |  |
|  |  |  |  |

集落柵等の水路や道路に対策を講じるもの。例）水路上に電気柵の設置等 | その他

|  |  |
| --- | --- |
| 対象農地 | 対象農地 |
| 対象農地 | 倉庫等 |
| 対象農地 | 対象農地 |

農地を囲うことを基本とするが、効率的と判断できる場合は、農地以外を含めて設置可能。 | その他

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 申請者Ａ | 申請者Ａ | 所有者Ｃ | 所有者Ｃ | 申請者Ｂ | 申請者Ｂ |
| 道路 |

Ｃの農地を挟んで、ＡＢは隣接するが、Ｃが設置希望しない場合、ＡＢそれぞれの申請とする。Ｃも希望する場合は、国庫事業を優先する。 |

**【町単独事業の対象とならない具体例】**

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 国庫事業の対象とならない農地（受益農地３戸以上）について

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| （設置希望なし）所有者Ａ | （設置希望）所有者Ｂ |  (意向未確認)所有者Ｃ |

連続する農地の所有者の意向を確認していない。 | 水路または道路への対策について

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 山 | 林 |  |
|  | 農地 | 農地 |  |
|  | 農地 | 農地 |  |
|  | 農地 | 農地 |  |
|  | 農地 | 農地 |  |
|  |  |  |  |

国庫事業等の補助を受けて設置した防護柵の修繕を目的とするもの。 | 採択要件ウについて

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 山 | 林 |  |
|  | 農地 | 農地 |  |
|  | 対象農地 | 農地 |  |
| 道路・水路等 |
|  | 農地 | 農地 |  |
|  |  |  |  |

国庫事業等の補助を受けて設置した防護柵の受益地内に新たに防護柵を設置する。 |